

平成26年度 事業報告

(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

平成26年度は、事業計画に基づき会員各位の協力のもとに学会誌「ダム工学」を発行し、広報活動、学術講演会、研究発表会、講習会、各地区現場見学会、ダムなんでも相談室等を開催し、ダム工学会賞の選定、表彰を行った。また、with Dam★Night2014を東京で、with Dam★Night in Osakaをグランフロント大阪で、with Dam★Night in Kyusyuを九州大学西新プラザで開催した。

ダム技術の大学等の研究者への情報発信を強化し、ダム建設現場が大学等の研究フィールドとして積極的活用がなされるように、現場と研究者の仲立ちを行う「交流研究連絡会議」を調査研究委員会内に設置した。

さらに、ダム工学会の広報活動の実施主体間の情報交換を行い、戦略性をもった広報活動を検討するため、ダム工学会内に広報連絡会を設置し、ダム工学会内の広報に関する連携の強化・HPの改良の着手、他のダム関連諸団体との広報活動に関する連携の一層の促進を図った。

会員数は、平成26年度末現在、正会員は799名、学生会員は46名、賛助会員は45社113口となり、平成25年度に比べて、正会員は6名の増加、学生会員は19名の増加、賛助会員は2社増（3口）、1社減（1口）により、1社（2口）の増加となっている。

各事業の実施については、各委員会、研究部会により周到な計画・準備が行われてきたことと、会員各位の活発な活動に支えられ、充実したものとなっている。

1. 委員会等活動報告

(1) 通常総会

平成26年 5月15日に通常総会を開催し、平成25年度事業報告及び収支決算、理事選任について承認を得るとともに、平成26年3月の理事会で承認された、平成26年度事業計画及び収支予算について報告を行った。

○ 第24回 通常総会

日 時 : 平成26年 5月15日 14:00～
場 所 : 星陵会館 2Fホール
出席者 : 382名（うち委任状による出席者292名）
議 題 : 平成25年度事業報告及び収支決算、会計監査報告
理事選任
報 告 : 平成26年度事業計画及び収支予算
新任役員等の紹介

(2) 理事会

以下の通り理事会を4回開催した。

○ 第57回 理 事 会

日 時 : 平成26年 4月24日 13:30～15:00
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 第24回通常総会議案について
報 告 : 「第19回水シンポジウム2014inながさき」への後援名義使用許可について

- 第58回 理 事 会
 - 日 時 : 平成26年 5月15日 15:00～15:20
 - 場 所 : 星陵会館 E会議室 (1階)
 - 議 題 : 会長・副会長の選出について
顧問の選出について
ダム工学会表彰委員会委員選出について
ダム工学会選考委員会委員選出について
理事の委員会委員委嘱について

- 第59回 理 事 会
 - 日 時 : 平成27年 1月23日 10:00～12:00
 - 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 - 議 題 : 会長の任期について
調査研究委員会ダム技術史研究部会の設置について
ダム工学会設立 25 周年記念事業 (案) について
賛助会員の加入について
 - 報 告 : 調査研究委員会学民研究連絡会議の設置について
日本大ダム会議広報連絡会について
ダム工学会 HP の改良について
第 5 回世界工学会議 (WECC2015) への協賛について
会員数の推移について

- 第60回 理 事 会
 - 日 時 : 平成27年 3月13日 13:30～15:00
 - 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 - 議 題 : 平成27年度事業計画(案)について
平成 27 年度収支予算(案)について
賛助会員の加入について

(3) 評議委員会

以下の通り評議委員会を開催した。

- 第33回 評議委員会
 - 日 時 : 平成26年 4月24日 15:15～16:45
 - 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 - 議 題 : 平成26年度 理事の推薦について
平成26年度 評議委員案について
第24回通常総会議案
 - 報 告 : 「第19回水シンポジウム2014inながさき」 への後援名義使用許可について

(4) 委員会等活動

事業活動を推進するため、企画運営委員会及び各小委員会、編集委員会、調査研究委員会、ダム工学会賞の関係委員会を以下のとおり開催した。

1) 企画運営委員会

- 第75回 企画運営委員会
日 時 : 平成26年 4月16日 10:00～12:00
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 第24回通常総会議案について
「第19回水シンポジウム2014inながさき」への後援名義使用許可について
- 第76回 企画運営委員会
日 時 : 平成26年12月19日 10:00～12:00
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : ダム工学会設立25周年記念事業について
報 告 : 日本大ダム会議広報連絡会について
各小委員会活動報告について
- 第77回 企画運営委員会
日 時 : 平成27年 2月27日 10:00～12:00
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 平成27年度の事業計画(案)について
平成 27 年度の収支予算 (案)について
ダム工学会設立 25 周年記念事業について
「with Dam★Night」の方針について
- 各小委員会の活動内容
 - ① 総務小委員会
通常総会、理事会、評議委員会及び企画運営委員会の運営に関する企画・立案・実施、会員情報の管理、学会会計（会費の徴収を含む）の報告を行った。
又、会計監査法人との契約について、見直しを行った。
 - ② 学術研究発表会小委員会
特別講演会及び研究発表会の運営に関する企画・立案・実施を行った。
 - ③ 講習会小委員会
講習会の運営に関する企画・立案・実施を行った。
 - ④ 現地見学会小委員会
現地見学会開催に関する企画・立案・実施を行った。
 - ⑤ 広報小委員会
学会及び学会行事の広報に関する企画・立案・実施を行った。
又、ホームページの更新、メルマガ配信サービスにより情報提供を行った。
 - ⑥ 活性化推進小委員会
ダム工学会の活性化推進方策検討や、with Dam★Night 2014、各地区活動・ダムなんでも相談室・若手の会の運営に関する企画・立案・実施を行った。

2) 編集委員会

「ダム工学」発行のため、編集委員会を計4回開催した。

- 第98回 編集委員会
日 時 : 平成26年 4月16日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について
- 第99回 編集委員会
日 時 : 平成26年 7月 1日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について
- 第100回 編集委員会
日 時 : 平成26年10月 1日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について
- 第101回 編集委員会
日 時 : 平成27年 1月16日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について

3) 調査研究委員会

- 第1回 調査研究委員会
日 時 : 平成26年 5月 9日 13:30～15:00
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 事業報告内容の確認(コンクリートダム・フィルダム・地質基礎・維持管理・施工・計測管理研究部会)
- 第2回 調査研究委員会
日 時 : 平成26年12月18日 10:00～11:45
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 事業報告内容の確認(コンクリートダム・フィルダム・地質基礎・維持管理・施工・計測管理研究部会)
交流研究連絡会議の設置について
ダム技術史研究部会(仮称)の設置について

4) ダム工学会賞の関係委員会

- 平成26年度 選考委員会
日 時 : 平成27年 2月 19日 10:00～11:40
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 技術賞の授賞者選考
功績賞、技術功績賞、論文賞の各候補者選考
- 平成26年度 表彰委員会
日 時 : 平成27年 3月 6日 10:00～11:50
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 優秀発表賞・技術賞の授賞者選考経過報告
特別功績賞、功績賞、技術功績賞、論文賞の授賞者選考

2. 行事活動

(1) 現地見学会

- 第40回 ダム工学会現地見学会
日 時 : 平成26年11月13日～14日
実施場所 : 立野ダム、大分川ダム、五ヶ山ダム、
白水えん堤
参加者数 : 46名

(2) 研究発表会（講習会と合同開催）

- 平成26年度 ダム工学会研究発表会
日 時 : 平成26年11月20日 10:00～11:30
開催場所 : 星陵会館 2Fホール
参加者数 : 61名
発表論文数 : 4編
優秀発表賞 : 「衝撃弾性波法を用いたコンクリートダム堤体の
水平打継面調査」
(独)水資源機構 総合技術センター 市川 滋己 氏

(3) 学術講演会

- 第24回 特別講演会
日 時 : 平成26年 5月15日
開催場所 : 星陵会館 2Fホール
講 演 : 東京大学大学院工学系研究科 教授 小池 俊雄 氏
「気候の変化と水循環変動
ー河川・水資源管理の適応策の観点からー」
参加者数 : 97名

(4) 講習会（研究発表会と合同開催）

- 平成26年度 ダム工学会講習会
日 時 : 平成26年11月20日 13:15～17:00
開催場所 : 星陵会館 2Fホール
参加者数 : 61名

(5) 活性化活動関連

- 第9回北海道地区現場見学会
開催日 : 平成26年 9月25日、26日
見学場所 : 一般国道44号釧路町オビラシケ川橋梁上部工事視察
星が浦海岸通架道橋現場視察
札内川ダム視察
(概要説明用ビデオ鑑賞、監査廊内・放流状況見学)
十勝大橋視察(新・旧十勝大橋、旧十勝大橋の暴露試験)
参加者数 : 63名
- 第8回中部・近畿地区現場見学会及び講演会
開催日 : 平成26年11月18日
見学場所 : 国土交通省 天ヶ瀬ダム
関西電力(株) 喜撰山発電所
講演 : (一財)ダム技術センター
首席研究員 川崎 秀明 氏
「ダムの再開発技術」
参加者数 : 36名
- 第9回中国・四国地区現場見学会及び講演会
開催日 : 平成26年11月 7日
見学場所 : 国土交通省 殿ダム
講演 : 鳥取大学 准教授 矢島 啓 氏
「殿ダムにおける選択取水設備の効率的運用を
目指したリアルタイム水質管理システム」
参加者数 : 34名
- 第10回九州地区現場見学会及び講演会とシンポジウムの開催
1. 現場見学会及び講演会
開催日 : 平成26年10月 3日
見学場所 : 新曾木水力発電(株) 新曾木発電所
国土交通省 鶴田ダム
講演 : (一財)ダム技術センター 首席研究員 川崎 秀明 氏
「ダムの最新技術動向」
九州地方整備局川内川河川事務所
事務所長 加治 賢祐 氏
「鶴田ダム再開発事業の概要について」
鹿島・西松特定建設工事共同企業体
鶴田ダム施設改造工事事務所
事務所長 滝口 紀夫 氏
「鶴田ダム施設改造工事及び増設減勢工工事について」
参加者数 : 24名
2. 第2回中小水力発電に関するシンポジウム
開催日 : 平成26年12月12日
場所 : 九州大学西新プラザ
講演 : 基調講演 ダム工学会会長 岡本 政明 氏
「既存ダム・水力施設の最大活用による水力発電の増強」
一般講演 5題
参加者数 : 93名

- ダムなんでも相談室
 開催日 : 平成26年 8月12日～ 8月14日
 開催場所 : 東京国際フォーラムG棟701
 (丸の内キッズジャンボリーの一部スペース)
 概要 : ダム博士とクイズを通してダムの役割と水の循環を学ぶ対話型の催しと手作り水力発電模型の実演を行った。
 来場者数 : 1040名
- 第2回 ダムを知るための若手技術者勉強会
 開催日 : 平成26年 8月25日～26日
 開催場所 : 高知工科大学
 高知県 和食ダム建設事業所
 (独)水資源機構 早明浦ダム管理所
 参加者数 : 37名 (学生21名)
 概要 : 建設中のダムの工事現場、管理中のダムの堤体、ゲート、監査廊、発電施設などの施設見学を行うとともに、ダムの基礎知識講座、参加者による研究発表会を行った。
- “with Dam★Night 2014”
 開催日 : 平成26年 7月14日
 開催場所 : 日本橋社会教育会館 8Fホール
 概要 : テーマを「Dams Be Ambitious!」とし、ダムファン4人と専門家4人の計8講演のプログラムにより3時間にわたって実施した。
 参加者数 : 157名

講演プログラム

with Dam Night 2014 のプログラム

テーマ:「Dams, Be Ambitious!」			
日時: 2014年 7月 14日 (月) PM 18:15～21:15 (開場 17:30)			
場所: 日本橋社会教育会館 8Fホール (東京都中央区)			
開会 PM18:15 (敬称略)			
<u>夜啼1. ダムへ行こう</u>			
ダムツーリズムとおすすめダム	国土交通省治水課	須賀正志	
ダムツアー ～プロローグ～	ダムツーリズムプロデューサー	琉	
<u>夜啼2. 活躍したダム2013</u>			
日吉がんばる! -嵐山・京都を救ったダム-	(独)水資源機構	左近重信	
日吉ダムだけじゃない! T13, 18で活躍したダムたち	ダムマイスター	星野夕陽	
休憩 (10)		19:50 - 20:00	
<u>夜啼3. 水力の夢</u>			
既設ダムを有効利用した水力発電の可能性	前田建設工業㈱	山本與四朗	
ダムを活用して発電量アップ	ダムマイスター	Hisa	
<u>夜啼4. トークショー - アンビシャスなダム達 -</u>			
私が考えるアンビシャスなダム達	(ダム工学会活性化小委員長)	川崎秀明	
世界のダム紙幣	ダムマイスター ダム紙幣収集家	Takane	
	ダムツーリズムプロデューサー	琉	
閉会 PM21:15 総合司会 中野朱美 (ダム工学会若手の会)			
実行チーフ 北川正男 (活性化小委員会)、チラシ作成 尾山玲、実行スタッフ 木元敏徳、佐藤公治、清水康記、水野哲、澤田悠太、敦賀亮介、志田孝之、小島裕之、西村香保里			

○ “with Dam★Night in Osaka”

開催日 : 平成26年 9月11日

開催場所 : グランフロント大阪北館1F CAFÉ Lab.

概要 : トークショーや映像放映、各種ダム関連資料展示、ダムビンゴゲームを行った。

参加者数 : 133名

プログラム

18:00	開会(挨拶:ダム工学会 会長 岡本政明)		
18:10~ 20:30	Aゾーン	Bゾーン	Cゾーン
	18:10~18:30 「トンネル式放流設備による既設ダムの機能増強 (天ヶ瀬ダム再開発事業)」 国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 善本隆典	カーテンスクリーン 18:10~20:30 (連続放映) 「DAM・ダム・dam」	飲食スペース 各種ダム 関連資料展示
	18:40~19:00 「平成25年台風18号における淀川水系の洪水調節」 独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所 三浦博久	モニター 18:30~19:30 (連続放映) 「Dams in Japan」	3Dフライト シミュレーション
	19:10~19:30 「出会いの場としてのダムをめざして (安威川ダム建設事業)」 大阪府 安威川ダム建設事務所 下村良希		
	19:40~20:00 「出し平ダム(黒部川における連携排砂)」 関西電力 株式会社 土木建築エンジニアリングセンター 大坪祐介	19:45~20:15 「アーチダムLOVE」	
	20:10~20:30 「赤レンガと木々の緑で」 共生機構 株式会社 坂場義雄		
20:30~ 20:55	ダムビンゴ		
21:00	閉会(挨拶:京都大学防災研究所 教授 角哲也)		

○ “with Dam★Night in Kyusyu”

開催日 : 平成26年12月12日

開催場所 : 九州大学西新プラザ

概要 : トークショーや映像放映、各種ダム関連資料展示を行った。

参加者数 : 115名

プログラム

16:00	開会挨拶 ダム工学会 会長 岡本 政明
16:05	プロローグ(九州のダム) ダム工学会九州地区連絡会 太田 達雄氏
16:30~	講演 ・九州のダム事業について: 国土交通省 九州地方整備局 河川部長 古賀 俊行氏 ・耳川水系ダム群の取り組み(地域共生): 九州電力(株) 耳川水力整備事務所 副所長 朝崎 勝之氏 ・美しい石のダム: ダム愛好家 夜雀氏
17:55~	トークショー(ダムの魅力) 講演者 古賀河川図書館 館長(ダムマイスター) 古賀 邦雄氏 九州地方整備局 元嘉瀬川ダム工事事務所長 葉野 修司氏 ダム愛好家 夜雀氏
18:45~	閉会挨拶 ダム工学会九州地区連絡会 会長 大塚 久哲氏

(6) 広報連絡会

ダム工学会内の広報活動の実施主体間の情報交換を行い、戦略性をもった効果的な広報活動方策を検討するため、ダム工学会広報連絡会を設置した。

構成メンバー ダム工学会会長
企画運営委員会委員長
ダム工学会活性化推進小委員会委員長
広報小委員会委員長
ダムなんでも相談室委員長 外

○第1回広報連絡会

開催日：平成26年8月27日

場 所：(一財)ダム技術センター

議 事：広報連絡会の開催について

今後のダム関係の広報活動について

ダム工学会ホームページの改良について

○第2回広報連絡会

開催日：平成26年10月7日

場 所：(一財)ダム技術センター

議 事：日本大ダム会議第3回広報連絡会の開催について

ダム工学会ホームページの改良について

○第3回広報連絡会（活性化推進小委員会と合同開催）

開催日：平成27年2月3日

場 所：(一財)ダム技術センター

議 事：ダム工学会設立25周年記念事業について

(一社)日本大ダム会議の広報連絡会について

平成27年度 with Dam★Night の開催計画について

平成27年度活性化推進小委員会事業計画・予算（案）について

ダム工学会ホームページの改良について

○電力土木技術協会企画委員会における協力要請

実施日：平成27年3月4日

場 所：日本女子会館

議 事：電力土木技術協会の協力を得て、ダム工学会から各電力会社に対し地方で開催するwith Dam★Nightに対する協力要請を行った。

○日本大ダム会議広報・環境分科会広報連絡会への参加

(一社)日本大ダム会議(JCOLD)では、ダム関係各団体の広報活動の連携を深め、より一層効果的な活動の展開を目的に平成23年に「広報活動に関する意見交換会」を設置した。ICOLD2012 京都大会の開催等で一時休止していたこの意見交換会は、(一社)日本大ダム会議の広報連絡会として平成26年から活動を再開したので、ダム工学会広報連絡会としても積極的に参加することとした。

JCOLD 広報連絡会の参加団体

(一社) 電力土木技術協会	(一社) ダム工学会
(一社) ダム・堰施設技術協会	(一財) ダム技術センター
(一財) 日本水土総合研究所	(一財) 日本ダム協会
(一財) 水源地環境センター	(一社) 日本大ダム会議

・第3回 JCOLD 広報連絡会

開催日：平成26年 9月24日

場 所：JCOLD 会議室

議 事：JCOLD 広報連絡会の活動経緯、各団体の平成26年度事業計画、連携した広報活動の可能性等について議論。
ダム工学会として平成26年度の事業計画及び研究活動計画について説明。

・第4回 JCOLD 広報連絡会

開催日：平成27年 1月13日

場 所：JCOLD 会議室

議 事：JCOLD 広報・環境分科会の活動方針、協働した広報活動に関する今後の対応等について議論。
ダム工学会から、with Dam★Night の共催及びダム工学会 HP 改良に関し各団体の HP にリンクを張る等の協力要請を行った。

・第5回 JCOLD 広報連絡会

開催日：平成27年 2月19日

場 所：JCOLD 会議室

議 事：ICOLD スタバンゲル年次例会に向けた広報計画等について議論。
ダム工学会から、with Dam★Night への各団体の参画意思について確認を行った。

3. 出版活動

(1) 学会誌「ダム工学」

平成26年度は、4回の会誌発行を行った。

VOL. 24 No.2	平成26年 6月16日発行
VOL. 24 No.3	平成26年 9月16日発行
VOL. 24 No.4	平成26年12月15日発行
VOL. 25 No.1	平成27年 3月16日発行

4. 研究活動

(1) 研究部会

研究部会は、コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、計測管理の6部門から構成され、各研究部会において研究活動が行われた。

なお、計画研究部会は「できるだけダムに頼らない治水は正しいか」の部会報告をまとめHPに掲載したことにより、平成27年1月をもって廃止することとした。

① コンクリートダム研究部会

平成25年度以降の研究テーマの内容の確認と分担について協議した。
日本では見られない「諸外国のダム補強・補修事例」についてICOLD資料などを参考に各位でまとめることにした。

○ 第1回 コンクリートダム研究部会

期 日 : 平成26年 8月29日

場 所 : (一財)ダム技術センター

② フィルダム研究部会

ダムのリスクマネジメントに関する研究の一環として、「大規模地震時におけるフィルダムの被災と復旧ならびにダム決壊洪水の伝播の研究」について文献資料、委員会資料のリストアップや現地調査、資料構成目次案の作成などを行った。

○ 第1回 フィルダム研究部会

日 時 : 平成26年11月 7日

場 所 : 東京都水道局 山口貯水池、村山下貯水池

現地調査 : ・レベル2地震動に対する耐震性能確保のため、1999～2008年にかけて耐震強化工事を実施した東京都水道局所轄の山口貯水池、村山下貯水池（いずれもアースフィルダム）を現地調査
・耐震補強を実施した堤体、取水塔、ならびに計測設備等を現地調査

③ 地質・基礎研究部会

「ダム（堤体、貯水池周辺斜面）の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について討論を行った。

○ 第1回 地質・基礎研究部会

日 時 : 平成26年 4月23日

場 所 : 安藤・間本社

○ 第2回 地質・基礎研究部会

日 時 : 平成26年 7月30日

場 所 : 安藤・間本社

○ 第3回 地質・基礎研究部会

日 時 : 平成26年12月17日

場 所 : 安藤・間本社

④ 維持管理研究部会

ダム貯水池の有効利用・活用、ダムへの理解を高める広報のあり方、地域との共生に関連した事例研究を行い、部会報告を作成する。

平成 26 年度は、管理者、利用者、地元の「ダムおよびダム湖利用」に関する意識の違いを明らかにし、その乖離を埋めることで利用促進を図る目的で、アンケートを実施した。

アンケート結果を分析、課題を把握し、次年度の成果とりまとめに反映させる。

- 第 1 回 維持管理研究部会
日 時 : 平成26年 5月20日
場 所 : (一財)ダム技術センター
- 第 2 回 維持管理研究部会
日 時 : 平成26年 7月25日
場 所 : (一財)ダム技術センター
- 現地調査
日 時 : 平成26年 8月24～25日
場 所 : 日吉ダム
- 第 3 回 維持管理研究部会
日 時 : 平成27年 3月 6日
場 所 : (一財)水源地環境センター

⑤ 施工研究部会

コンクリートダム施工時に堤体に発生するクラックに着目して、具体的な事例収集と対応策について研究し、失敗事例から学ぶ資料を作成する。

平成26年度は、ひび割れの発生部位ごとに事例を収集し、ひび割れの発生原因とひび割れを発生させないための対応策について具体的に検討を行うこととしている。

これに先だち、委員の所属会社の具体的発生事例と検討状況の収集と、土木研究所 金銅氏によるひび割れ検討事例の勉強会を行った。

温度規制を検討する際の温度応力解析については、解析の方法や入力物性値について施工サイドから見た改善意見をまとめる予定。

- 第 1 回 施工研究部会
日 時 : 平成26年10月 9日
場 所 : (一財)ダム技術センター
- 第 2 回 施工研究部会
日 時 : 平成26年12月 5日
場 所 : (一財)ダム技術センター

⑥ 計測管理研究部会

フィルダムの安全管理のための変位計測に関するGPS利用マニュアルについての内容確認をおこなうとともに、「フィルダムの変位計測に関するGPS利用マニュアル」説明会を開催した。

○ 第1回 計測管理研究部会

日 時 : 平成26年 9月 1日

場 所 : 都内会議室 (市ヶ谷)

○ 第2回 計測管理研究部会

日 時 : 平成26年 12月 9日

場 所 : 日本橋社会教育会館 8Fホール

○ 「フィルダムの変位計測に関するGPS利用マニュアル」説明会

日 時 : 平成26年 12月 9日

場 所 : 日本橋社会教育会館 8Fホール

参加者 : 95名

(2) 交流研究連絡会議 (新規)

ダム技術の大学等の研究者への情報発信を強化し、ダム建設現場が大学等の研究フィールドとして積極的活用がなされるように、現場と研究者の仲立ちを行う「交流研究連絡会議」を設置した。平成 26 年度は、ダム工学会として大学等の研究者に取り組んでもらいたい研究テーマの発掘を行った。

○ 第1回交流研究連絡会議

開催日 : 平成 26 年 12 月 11 日

場 所 : (一財)ダム技術センター AB 会議室

議 案 : 交流研究連絡会議について

交流研究テーマについて

5. 会員入会状況

※会員数は各年度末現在の人数
(平成27年3月末現在)

会員数

会員種別	平成25年度	平成26年度	備 考
正 会 員	793 名	799名	6名増（入会39名、退会33名）
学生会員	27 名	46名	19名増
合 計	820 名	845名	25名増
賛助会員	44社(111口)	45社(113口)	1社増(2口増)

シニア会員

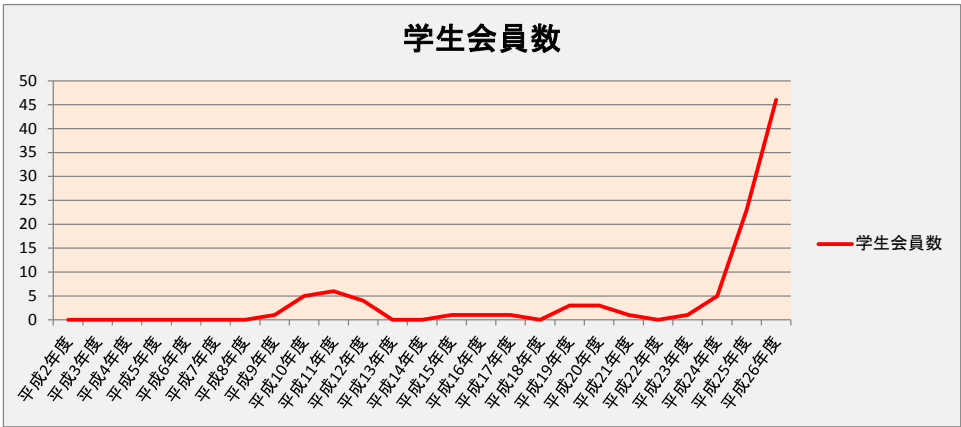
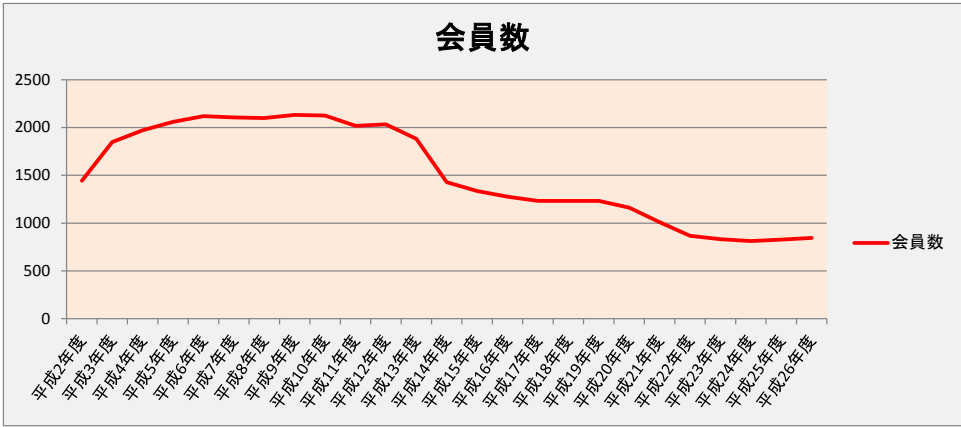
(平成27年3月末現在)

年齢層	平成25年度	平成26年度	備 考
60歳以上65歳未満	16名	9名	7名減
65歳以上	59名	70名	11名増
合計	75名	79名	4名増

口座振替

(平成27年3月末現在)

	平成25年度	平成26年度	備 考
口座振替利用者	80名	75名	5名減



議案 2

平成26年度 収支決算報告

(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(単位：円)

収入の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会費収入 (①～④計)	10,468,000	8,346,996	2,121,004	
①正会員会費	4,402,000	3,516,996	885,004	
②学生会員会費	0	0	0	
③シニア会員会費	516,000	180,000	336,000	
④賛助会員会費	5,550,000	4,650,000	900,000	
2. 事業収入 (①～⑥計)	1,757,000	2,225,000	△ 468,000	
①研究発表会収入	240,000	189,000	51,000	平成26年度 研究発表会講習会参加費
②現地見学会収入	995,000	1,158,000	△ 163,000	現地見学会参加費
③講習会収入	0	0	0	
④表彰関係収入	0	0	0	
⑤活性化推進収入	172,000	533,000	△ 361,000	
若手の会	20,000	79,000	△ 59,000	若手の会講習会参加費
ダムなんでも相談室	0	0	0	
北海道ブロック	30,000	0	30,000	
東北ブロック	12,000	0	12,000	
中部近畿ブロック	50,000	292,000	△ 242,000	wDNinOsaka参加費
中国四国ブロック	20,000	22,000	△ 2,000	現地見学会参加費
九州ブロック	40,000	140,000	△ 100,000	第10回現地見学会参加費 wDNinKysyu懇親会参加費
⑥調査研究収入	350,000	345,000	5,000	
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	150,000	0	150,000	
維持管理研究部会	0	0	0	
計測管理研究部会	200,000	345,000	△ 145,000	GPSマニュアル説明会参加費
3. 刊行収入 (①～④計)	1,726,000	1,919,585	△ 193,585	
①会誌一般頒布収入	320,000	270,000	50,000	
②会誌広告料	960,000	1,080,000	△ 120,000	
③抜刷別刷収入	396,000	45,360	350,640	
④その他収入	50,000	524,225	△ 474,225	第24回通常総会懇親会収入、JST和文抄録利用料
4. 図書出版事業収入	0	308,720	△ 308,720	GPSマニュアル、ダムの科学
5. 雑収入 (①～②計)	752,000	700,833	51,167	
①補助金収入	750,000	700,000	50,000	CMED会、河川整備基金助成事業
②受取利息	2,000	833	1,167	
小計 (1～5計)	14,703,000	13,501,134	1,201,866	
6. 前年度繰越金	11,999,145	11,885,397	113,748	
合計 (小計+6)	26,702,145	25,386,531	1,315,614	

(単位：円)

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	9,150,800	9,782,524	△ 631,724	
①研究発表会支出	935,000	661,422	273,578	学術研究発表会小委員会
②現地見学会支出	1,050,000	1,193,399	△ 143,399	現地見学会小委員会
③講習会支出	250,000	287,029	△ 37,029	講習会小委員会
④表彰関係支出	1,740,000	1,737,266	2,734	選考委員会・表彰委員会
⑤広報支出	88,000	88,179	△ 179	広報小委員会
⑥活性化推進支出	4,381,000	5,286,105	△ 905,105	活性化推進小委員会
若手の会	1,200,000	1,159,188	40,812	若手技術者勉強会 経費
ダムなんでも相談室	900,000	1,456,606	△ 556,606	ダムなんでも相談室 経費
北海道ブロック	380,000	332,234	47,766	現地見学会 経費
東北ブロック	217,000	192,670	24,330	H25現地見学会 経費
中部近畿ブロック	693,000	935,135	△ 242,135	with Dam Night in Osaka 経費
中国四国ブロック	235,000	223,728	11,272	現地見学会 経費
九州ブロック	556,000	816,084	△ 260,084	現地見学会、With Dam night in kyusyu 経費
with Dam Night 2014	200,000	170,460	29,540	with Dam Night 経費
⑦調査研究支出	706,800	529,124	177,676	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	800	800	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	151,000	1,380	149,620	
維持管理研究部会	65,000	45,560	19,440	現地調査 経費
施工研究部会	50,000	0	50,000	
計測管理研究部会	440,000	481,384	△ 41,384	GPSマニュアル説明会 経費
2. 刊行支出	4,706,000	4,562,098	143,902	
①会誌作成費	4,706,000	4,562,098	143,902	発送料・抜刷別刷料含む
3. 図書出版事業支出	0	0	0	
4. 事務支出 (①～⑭計)	2,237,500	1,707,273	530,227	
①会場費	410,000	399,084	10,916	第24回総会 経費等
②会議費	430,000	683,228	△ 253,228	第24回総会 経費等
③広報費	0	0	0	
④印刷製本費	310,000	203,310	106,690	第24回総会 経費等
⑤諸謝金	182,000	0	182,000	
⑥消耗品費	50,000	0	50,000	
⑦通信費	300,000	138,433	161,567	会費請求書 送付等
⑧表彰費	0	0	0	
⑨支払手数料	70,000	52,334	17,666	WEBバンク・口座振替手数料
⑩旅費交通費	50,000	0	50,000	理事会等 交通費
⑪車両費	0	0	0	
⑫保険料	0	0	0	
⑬コンサルタント料	315,000	129,600	185,400	会計顧問報酬
⑭雑費	120,500	101,284	19,216	ダム日本購読料, 法人税
5. 予備費支出	100,000	0	100,000	
小計 (1～5計)	16,194,300	16,051,895	142,405	
6. 繰越金	10,507,845	9,334,636	1,173,209	
合計 (小計+6)	26,702,145	25,386,531	1,315,614	